

骨髄移植・採取認定施設 関係各位

2008年12月25日
財団法人 骨髄移植推進財団
理事長 正岡 徹

骨髄採取キット（バクスター社製）の欠品に関する対応について（お願い）

バクスター社製の骨髄採取キットの欠品に関して、12月22日にお知らせしましたとおり、厚生労働省、日本造血細胞移植学会および骨髄移植推進財団において協議を行い、血縁・非血縁間の骨髄移植について一元的に対応する方針で、関係者が一体となって全力で対処しております。

日本造血細胞移植学会ホームページに掲載されておりますように（別添 12月24日付 一般のページ「骨髄採取キット（バクスター社）欠品のお知らせ並びにその対応について 第2報」）、バクスター社に代わる海外他社製品（国内未承認）について、医師の個人輸入制度を活用して輸入する方向で学会において早急に検討がなされ、確保・入手等の手続きにつきましては追ってご案内される予定です。

財団としましても、学会と連携して、予定の骨髄採取が1例1日たりとも遅滞することがないように全力で製品確保に当たりますので、各施設におかれましては、不安をいだかれることなく今後の非血縁者間骨髄採取の受け入れの手続きを進めていただきますよう、お願い申し上げます。